



イノベーションで先へ行く!走れ!未来へ
ON THE RUN!

エラストマーで新事業の領域へ。
そこは時代の少し先にあります。

●医療機器・ヘルスケア機器 ●電子資材 ●新ソリューション

2019年3月期 決算概要

2019年5月13日

バンドー化学株式会社

3年連続選定



2019
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

I . 2019年3月期 決算概要

II . 2020年3月期 業績予想

I . 2019年3月期 決算概要

2019年3月期 決算ハイライト

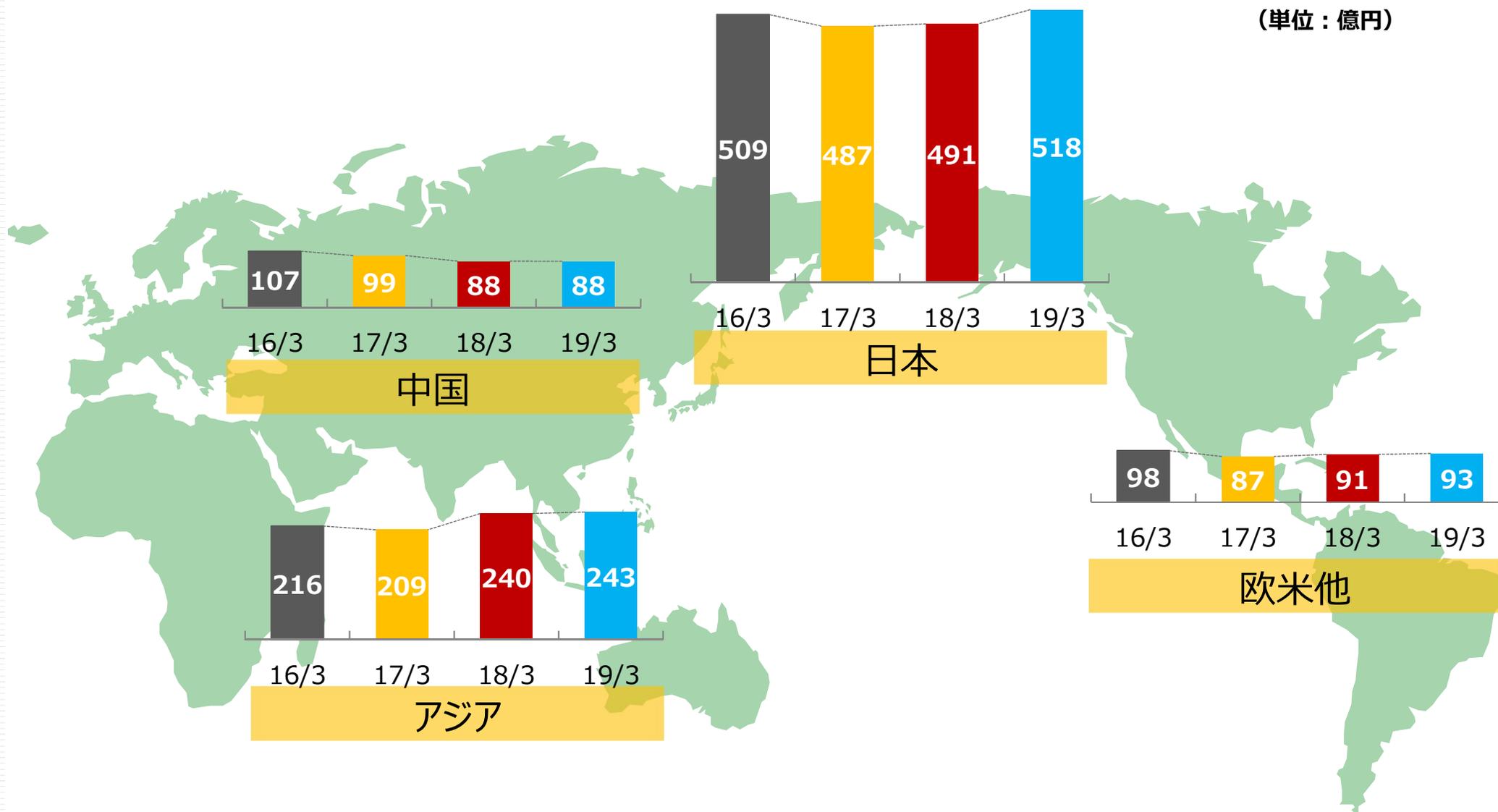
(百万円)

	2018/3	2019/3			
	実績	実績	前期比	業績予想値	達成率 (対業績予想値)
売上高	91,263	94,157	+2,894	94,000	100.2%
営業利益	6,336	6,392	+55	6,500	98.3%
経常利益	6,598	7,556	+957	7,000	107.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,795	4,645	△149	5,000	92.9%
営業利益率	6.9%	6.8%	△0.1%	6.9%	—

- 売上高は、主に国内の売上高が伸長した結果、前期比で+2,894百万円の増収となった。
- 利益は、主に持分法による投資損益および為替差損益が好転し、経常利益が+957百万円の増益となったものの、リスク分担型企業年金制度への移行に伴う損失等、特別損失△1,288百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益が前期比で△149百万円の減益となった。

2019年3月期 所在地別売上高

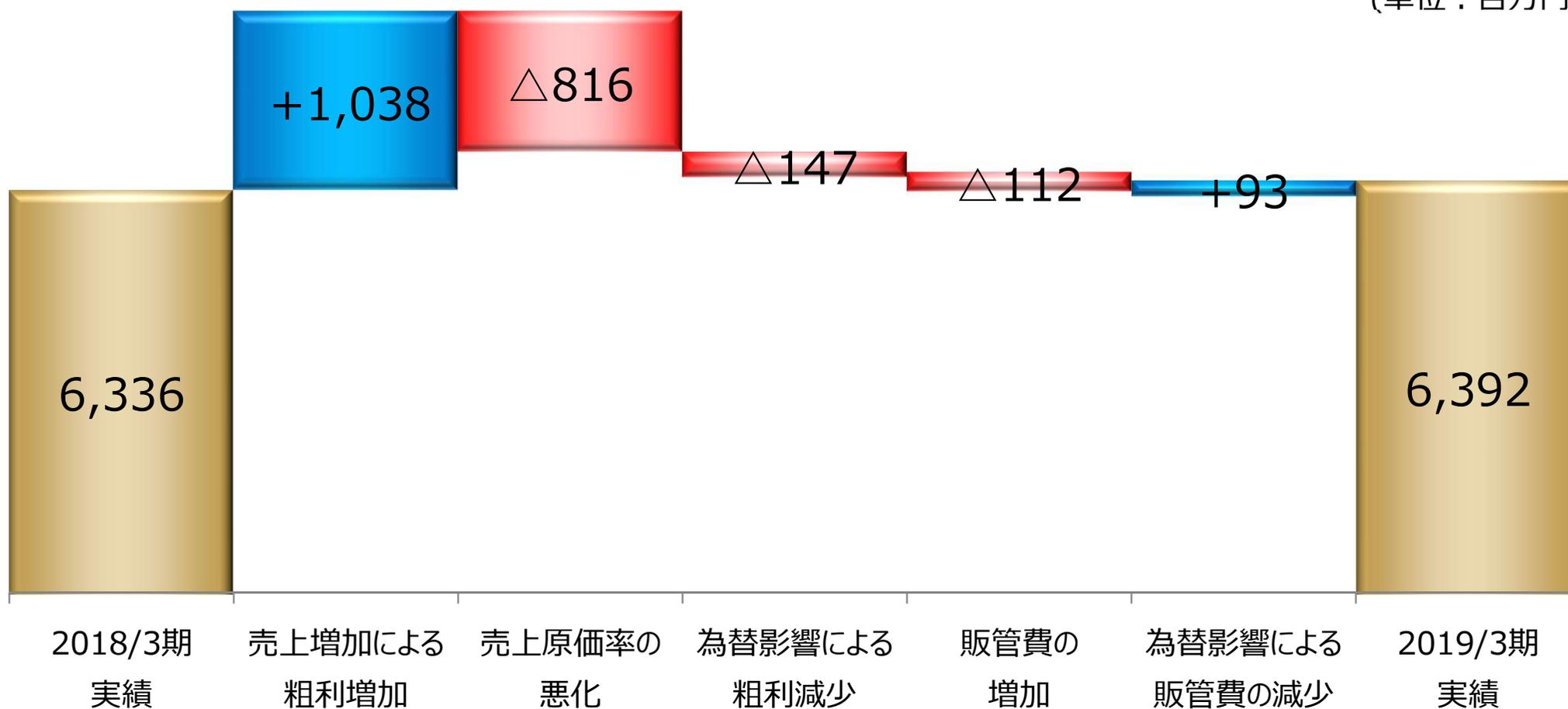
(単位：億円)



(注)所在地別売上高はセグメント間取引消去後。

2019年3月期 連結営業利益 増減分析

(単位：百万円)



2019年3月期 セグメントの状況

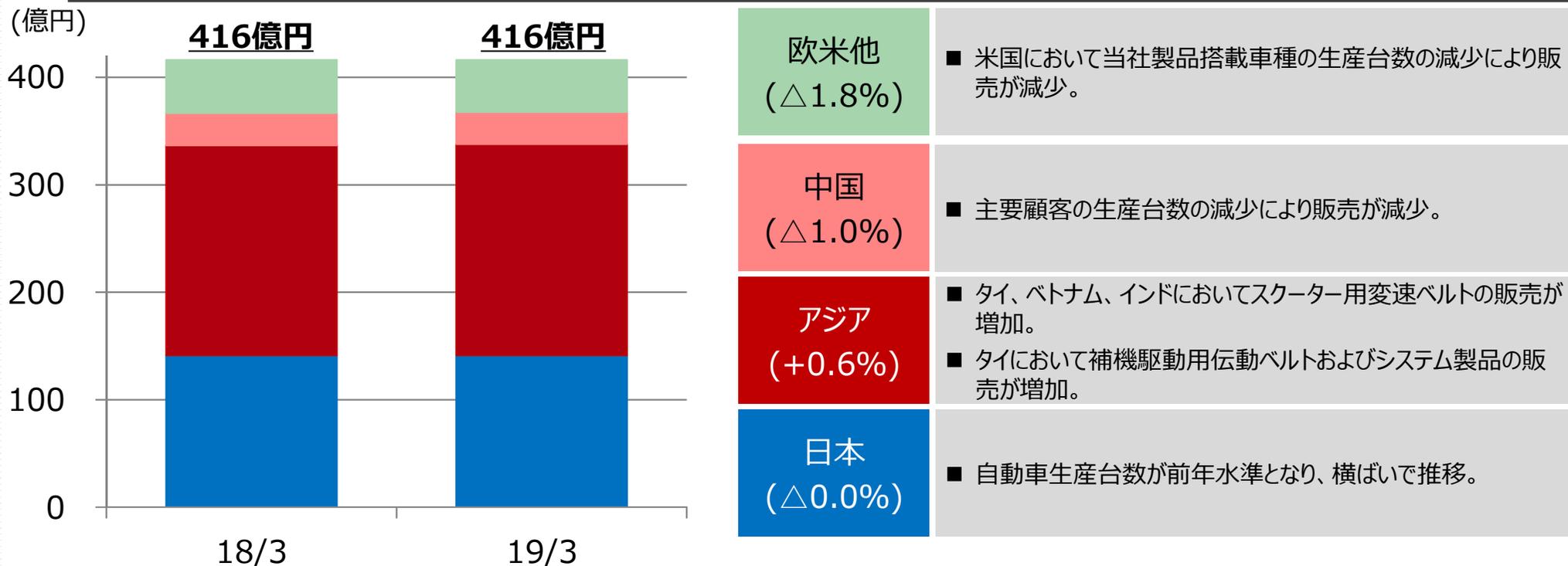
(百万円)

	2018/3 実績	2019/3		
		実績	増減額	増減割合
売上高	91,263	94,157	+2,894	+3.2%
自動車部品事業	41,701	41,655	△45	△0.1%
産業資材事業	32,369	34,599	+2,230	+6.9%
高機能エラストマー製品事業	15,160	15,283	+122	+0.8%
その他	2,732	3,884	+1,152	+42.2%
セグメント間消去	△699	△1,264	△564	-
営業利益	6,336	6,392	+55	+0.9%
自動車部品事業	3,263	3,046	△217	△6.7%
産業資材事業	1,907	1,908	+0	+0.0%
高機能エラストマー製品事業	429	786	+356	+83.1%
その他	316	535	+219	+69.1%
セグメント間消去等	419	115	△303	△72.3%

自動車部品事業 概要



所在地別売上高



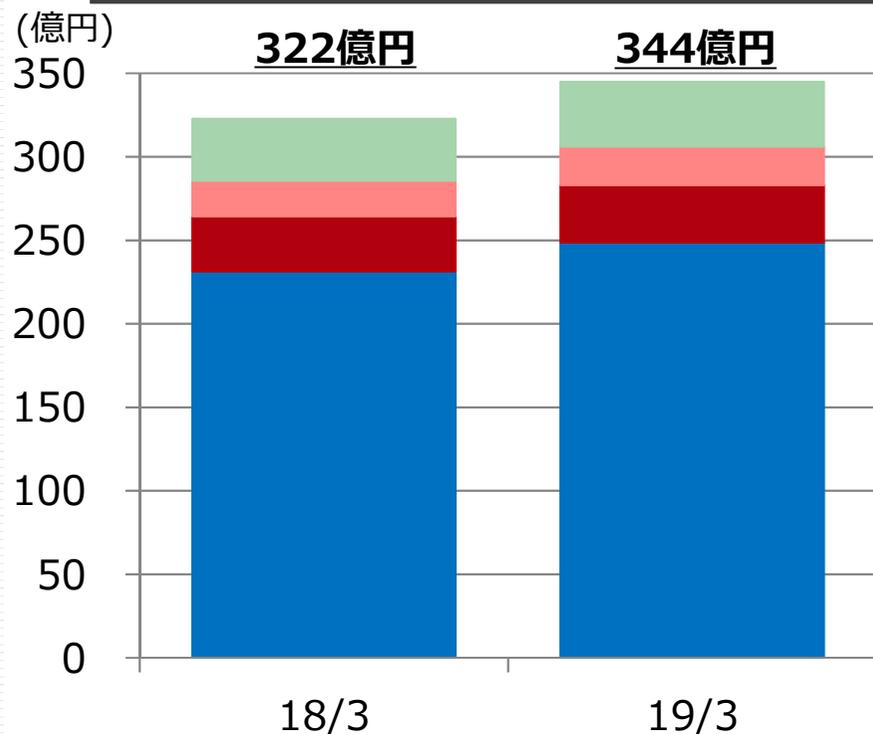
営業利益



産業資材事業 概要

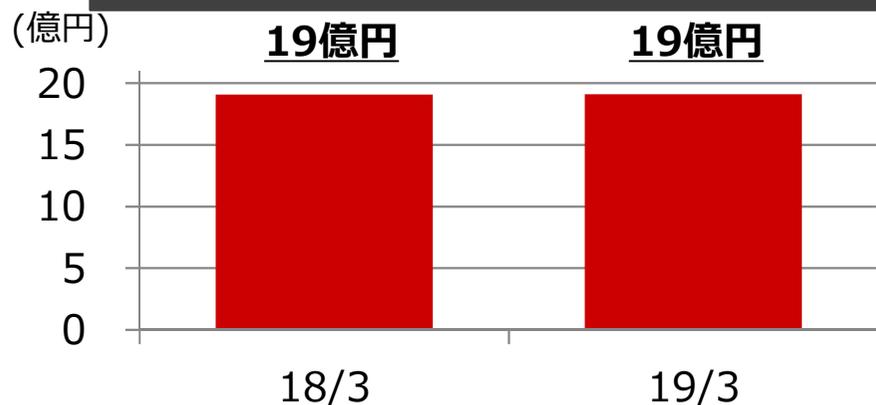


所在地別売上高



- 欧米他 (+4.7%)**
 - 米国においては、民間設備投資需要の増加により、産業機械用伝動ベルトの販売が増加。
- 中国 (+7.7%)**
 - 農業機械用伝動ベルトなどの販売が増加。
- アジア (+4.1%)**
 - 農業機械用伝動ベルトなどの販売が増加。
- 日本 (+7.5%)**
 - 機械受注に足踏みがみられたものの、産業機械用伝動ベルトの販売は増加。
 - 大型案件の増加によりコンベヤベルトの販売が増加。

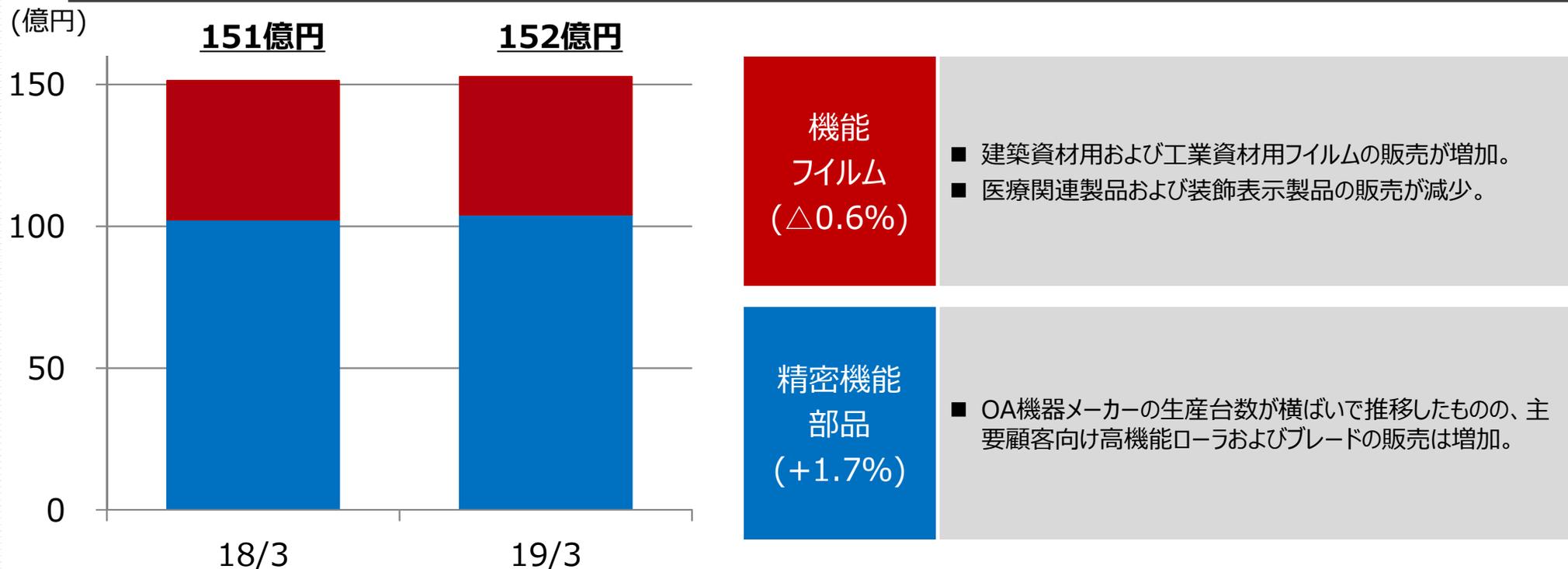
営業利益



- 営業利益 (+0.0%)**
 - 取引先への不具合対応により原価が増加する影響を受けたため、横ばいで推移。

高機能エラストマー製品事業 概要

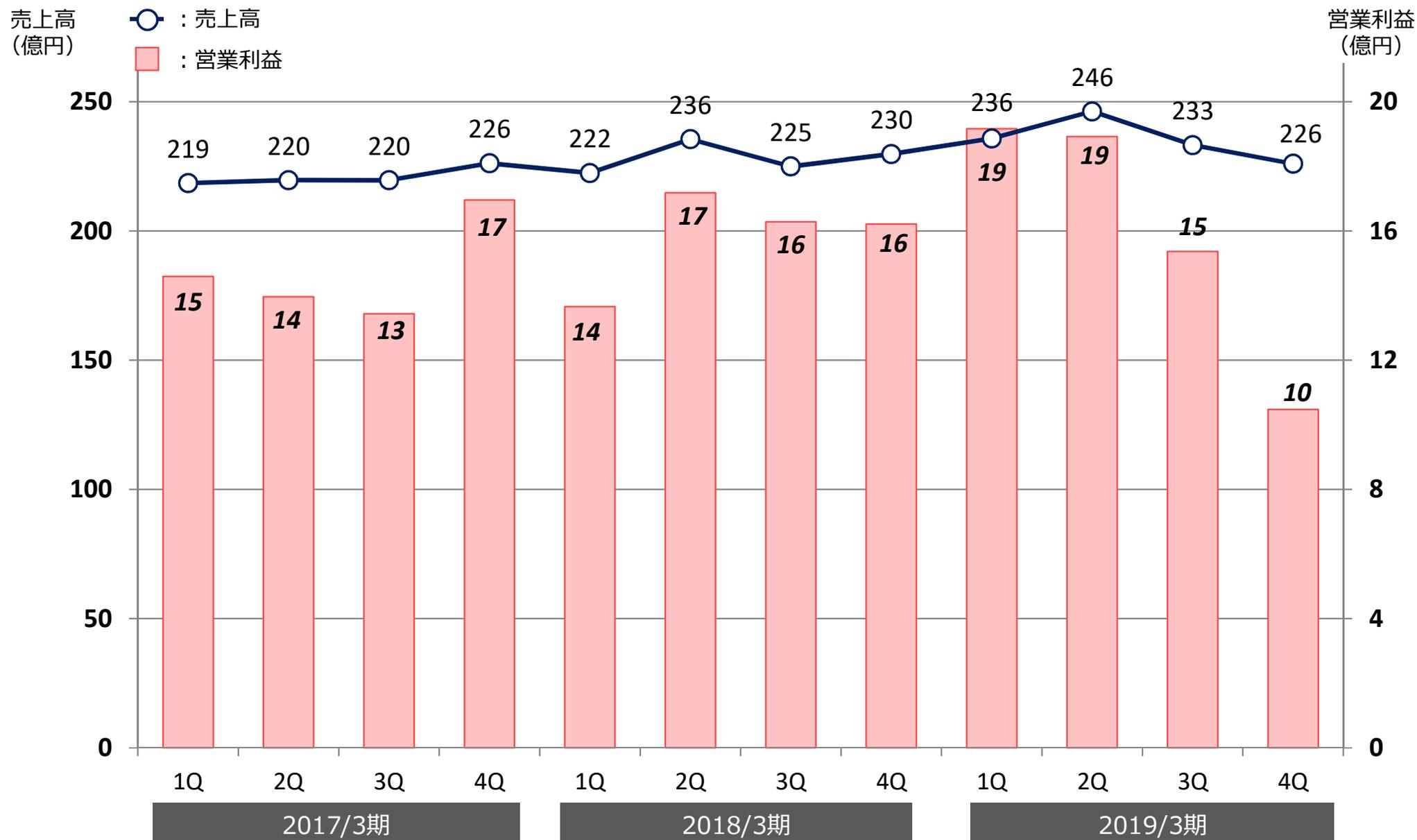
事業別売上高



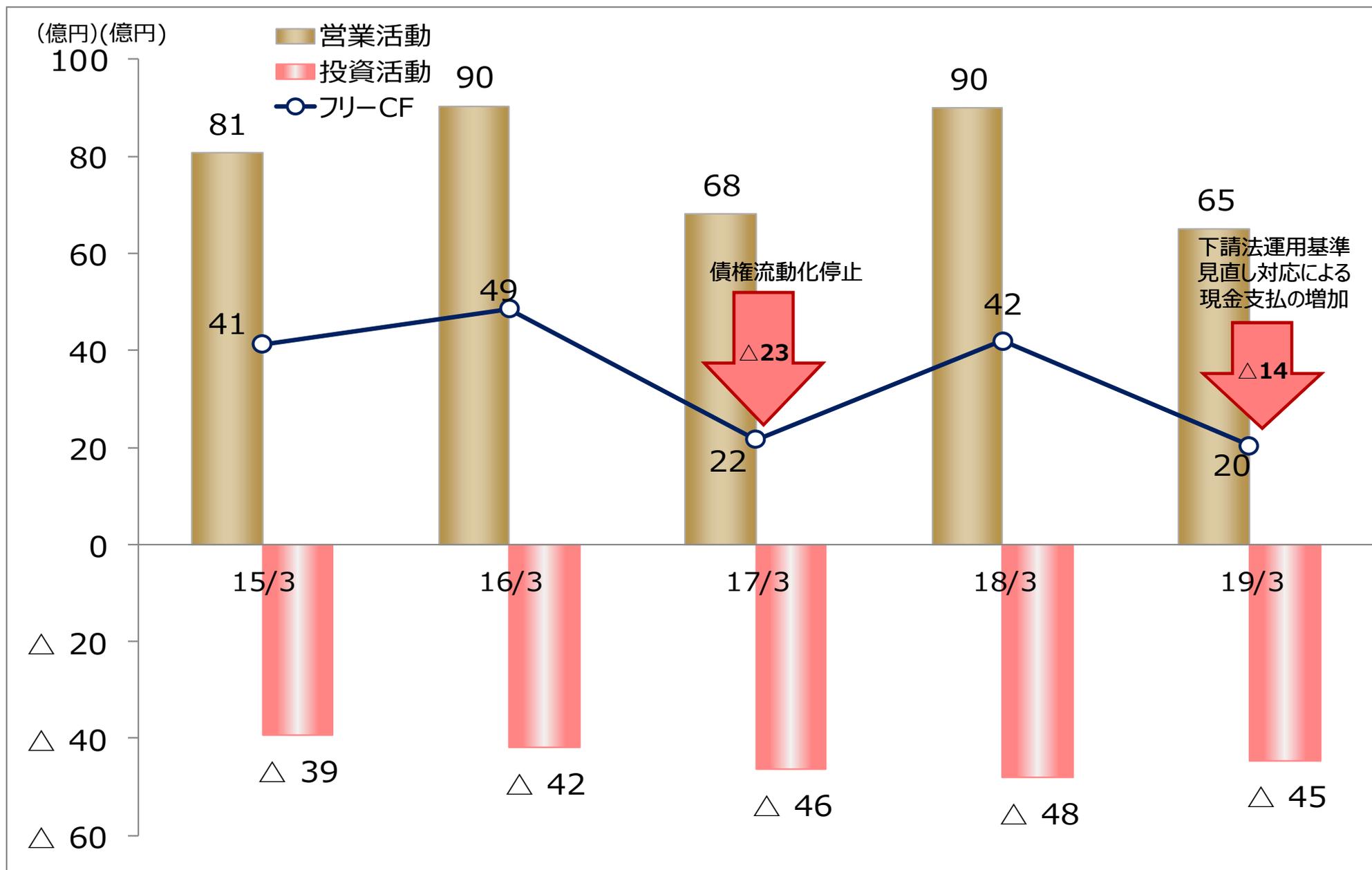
営業利益



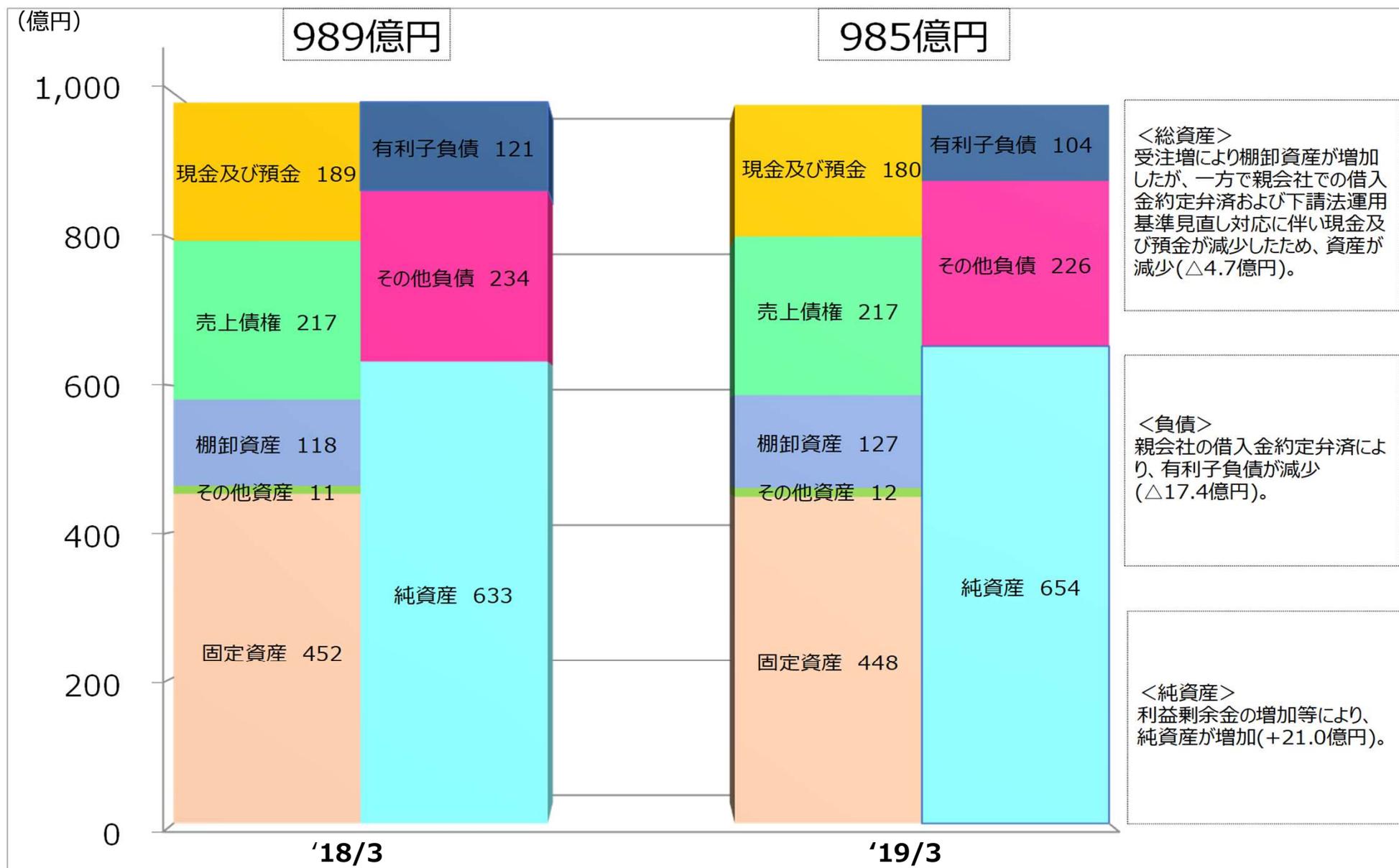
四半期推移 (売上高/営業利益)

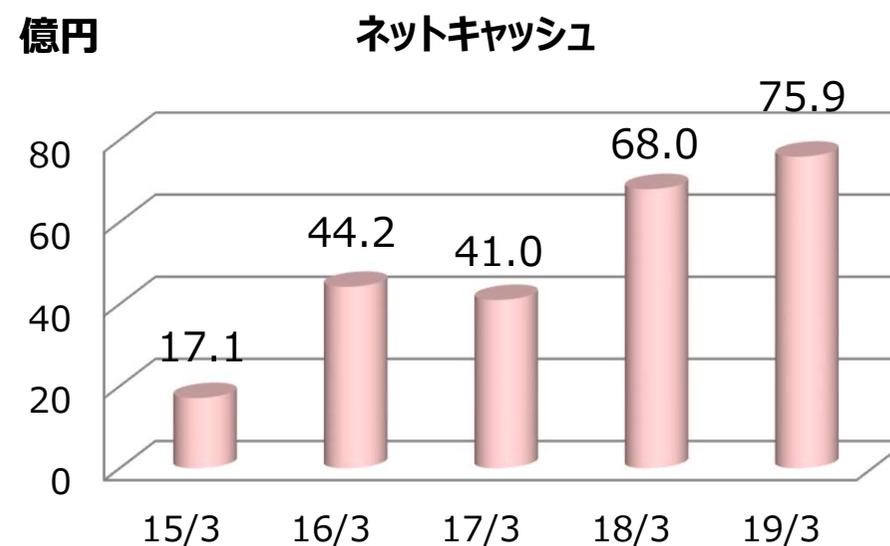
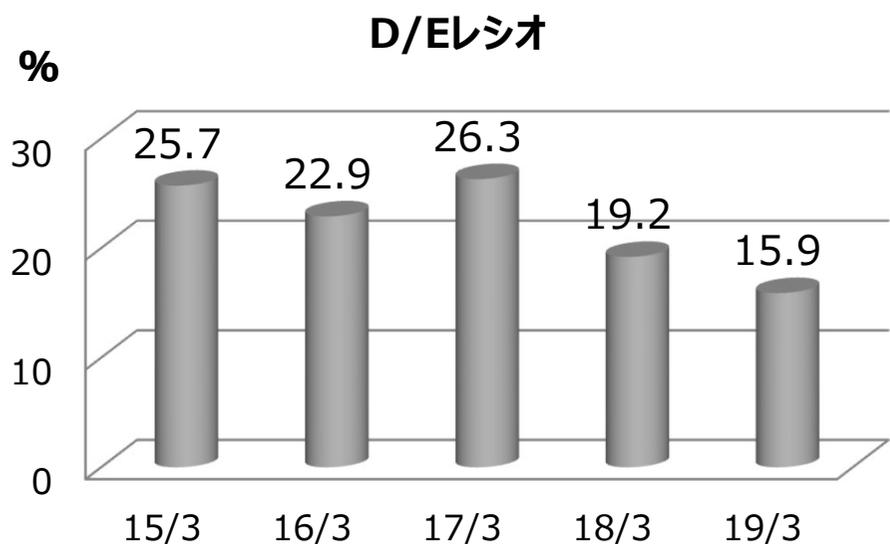
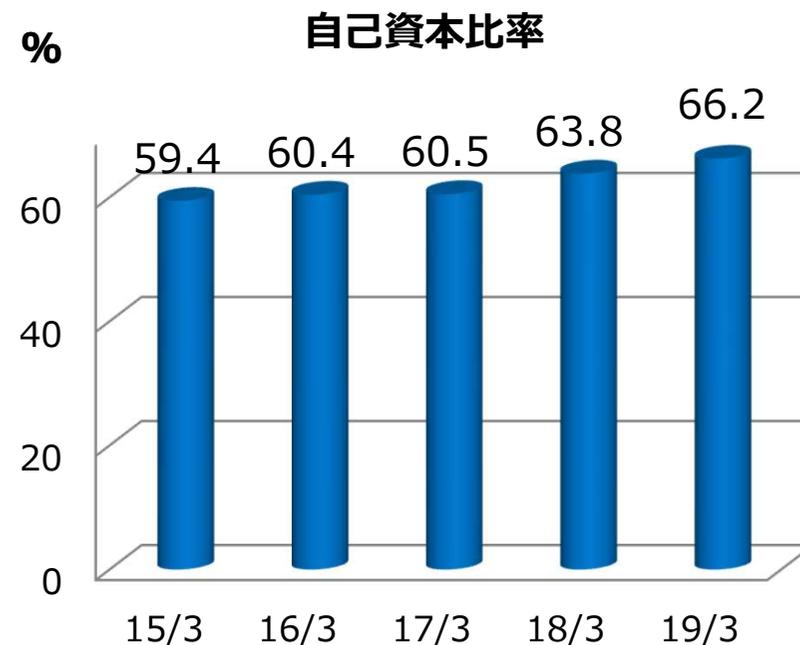
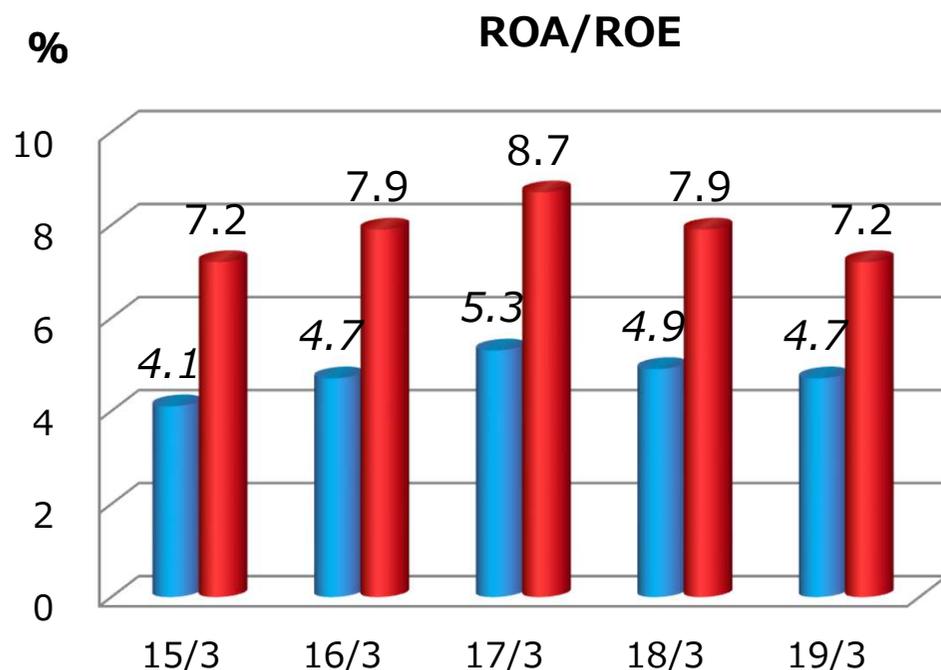


キャッシュフローの推移



連結貸借対照表





主なトピックス

2018年

4月 ・バンドー神戸青少年科学館のネーミングライツ契約を更新

・個人と組織の働き方改革を推進「在宅勤務制度」を導入

9月 ・プライベート展示会「バンドーテクノフェア2018」を開催

11月・小プーリ対応フッ素樹脂ベルト「ミスターウルトラミラー™」
を販売開始



神戸市からネーミングライツを取得している
「バンドー神戸青少年科学館」



小プーリ対応フッ素樹脂ベルト
「ミスターウルトラミラー™」



省エネ大賞を受賞
「HFD®システム」



食品用高グリップベルト
「ミスタースパイク™」

2019年

1月 ・「HFD®システム」が省エネ大賞を受賞

1月 ・南海工場「無災害記録560万時間」を達成

2月 ・食品用高グリップベルト「ミスタースパイク™」を販売開始

2月 ・「健康経営銘柄2019」「健康優良法人(ホワイト500)」に選定



3年連続で健康経営銘柄を受賞

Ⅱ. 2020年3月期 業績予想

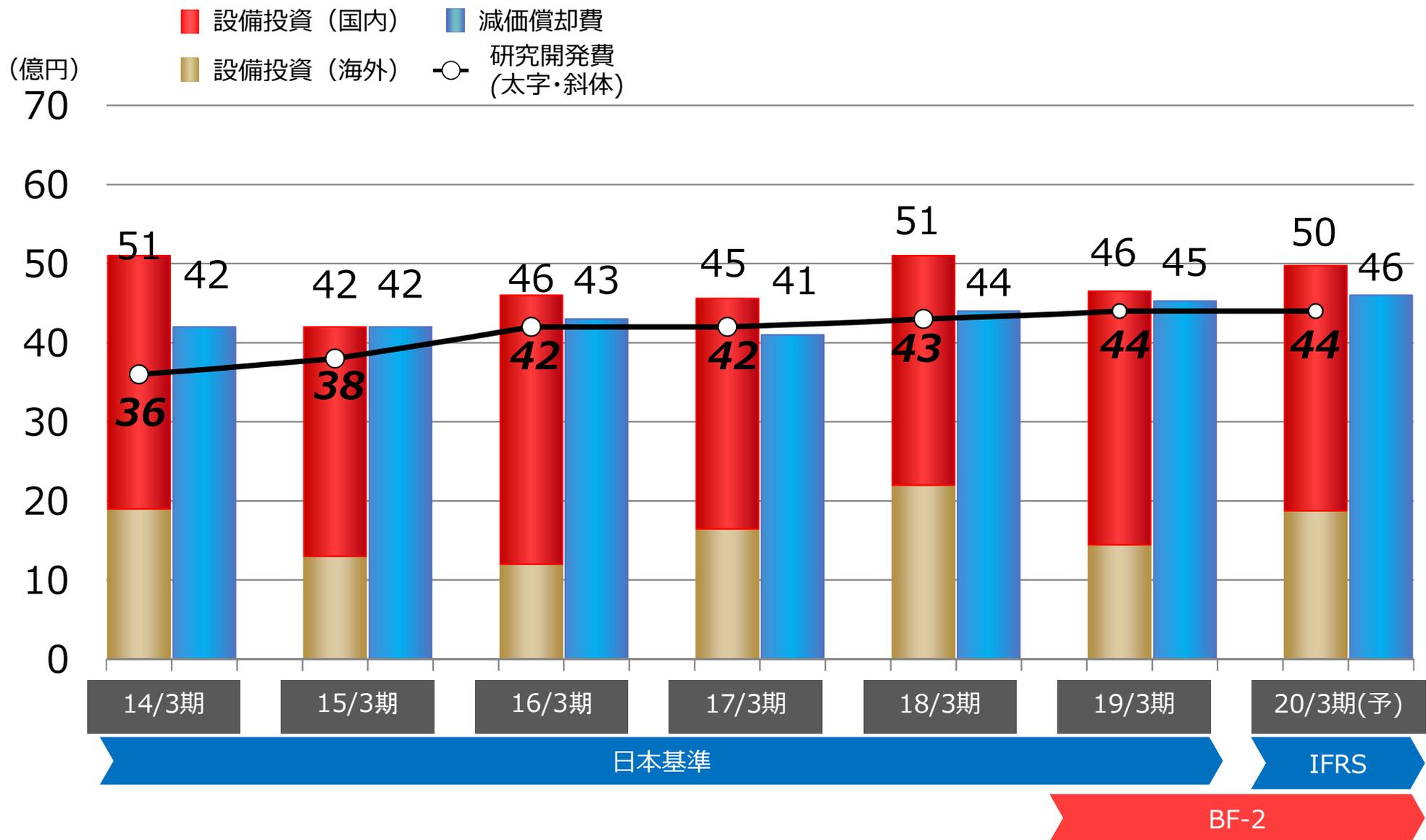
- 当社は、2019年5月8日付で実施した株式会社Aimedic MMTの買収による影響を精査中ではありますが、企業結合会計にかかる同社の資産価値金額およびその配分額の算定ならびに償却年数等の会計処理の検討には相当程度時間を要する見込みです。

このため、2020年3月期の業績予想については、本買収の当社の連結業績に与える影響の大きさに鑑み、現時点では合理的な算定・予想が困難であると判断したことから記載しておりません。

今後、発表が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

- 2019年3月期の有価証券報告書開示より、IFRSを任意適用する予定です。したがって、2020年3月期の業績予想はIFRSに基づいて開示いたします。

設備投資額と減価償却費、研究開発費の推移

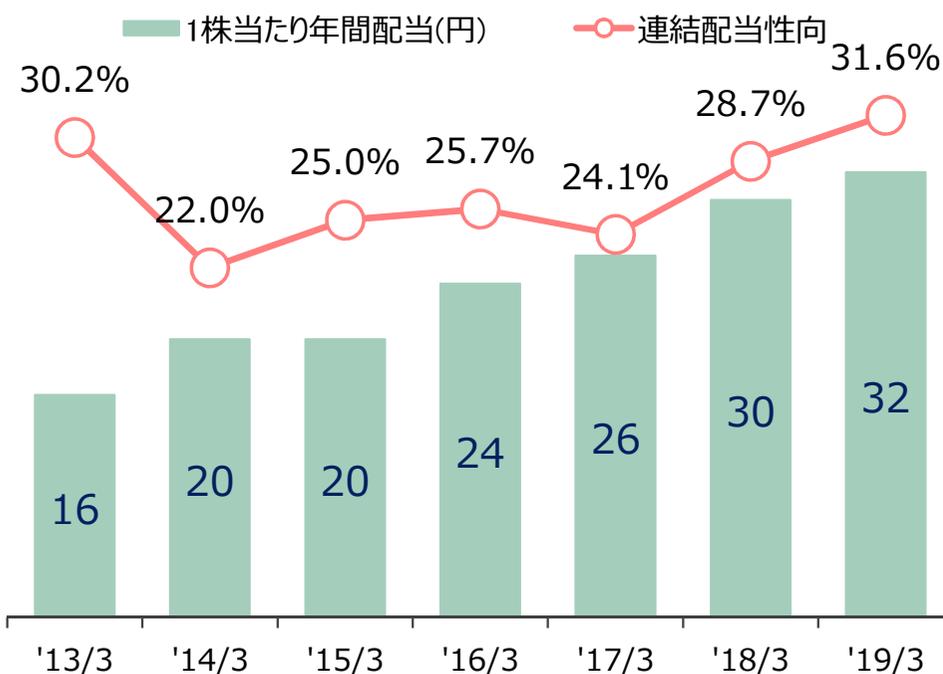


(注) 20/3期(予想)の数値は、(株)Aimedic MMTの株式取得を考慮する前のものとなります。
 20/3期(予想)の減価償却費の数値は、IFRSを適用した後の数値となります。

基本方針

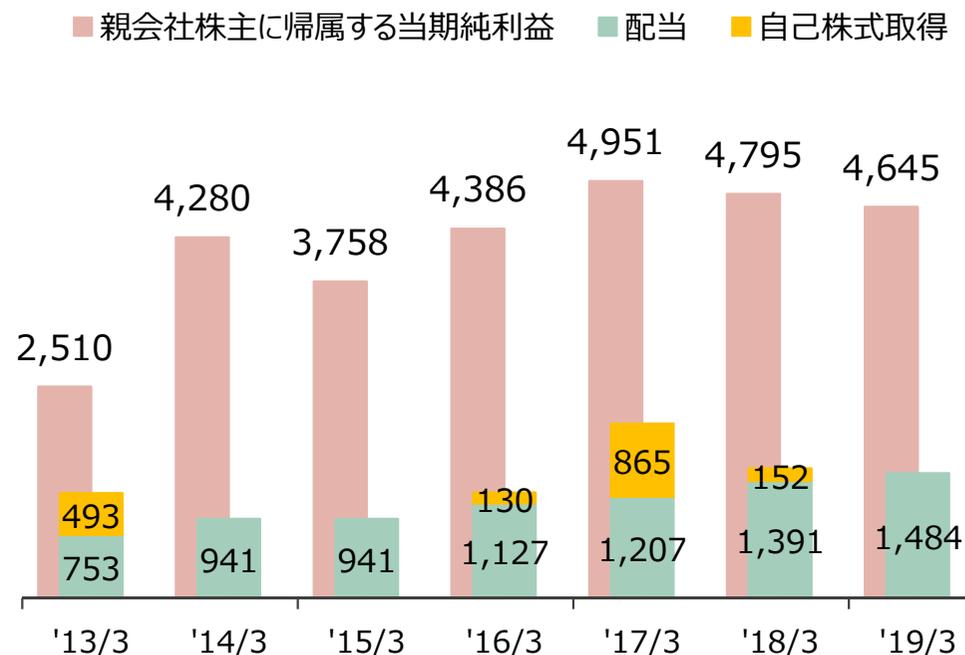
収益および財務状況を配慮しつつ、当面の連結配当性向は30%を目処に安定した利益配当を行うことを目標とし、利益還元の充実に努める。

1株当たり年間配当・連結配当性向の推移



株主総還元の推移

(単位：百万円)



(注)2016年10月1日付にて普通株式2株につき1株の割合にて株式併合を実施しており、1株当たりの年間配当はこの影響を補正した数値を記載しています。
2020年3月期の配当予想額は現時点では未定です。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があります。ことにご注意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。